



親子でねぶたを運行する相内保育所の運動会

健やかに育て幼い命

相内保育所（高松隆三所長）では、八月二十六日相内小学校グラウンドで、ちびっ子大運動会を行いました。

今年には「国際児童年にふさわしく、「健やかに育て、幼い命」をテーマに、種目も親子のふれあいを強調したものが

められました。運動会の終わりに、ねぶたと太刀振りもくり出し、ハッピ姿の子どもたちは、お母さんと一緒にラッセラー、ラッセラーと合同運行し、運動会をよりあげ、楽しい一日を過しました。

昭和54年

8月号

第7回 市浦村老人クラブ連合会福祉大会

環境美化運動にも協力

健康保持につとめ、新しい社会に順応できるように、自らの教養を高めよう。と第七回市浦村老人クラブ連合会福祉大会は八月二十五日午前十時から基幹集落センターに管内老人クラブ会員約百二十人が参加して行われました。

大会は、物故者に対する慰問。佐藤慶治会長のおいづつにはじまり、明治、大正、昭和と長い間社会に貢献してきた相谷とめさん（九十歳）を顕彰したあと、鳴海金次郎先生が「老人福祉問題」について講話。最近身のまわりで発生した問題や、老人福祉をわかりやすく説明し、集った会員から大きな拍手がありました。

大いには喜ばしいことであるが、この際、更に福祉バスの優先の利用についても適切な措置と配慮を望む。と四項目にわたって提案し、萬場の拍手で確認決定されました。また、次の開催地側を代表して、佐藤辰三郎さんが「来年の太田大会には、老人クラブ全会員の参加をお待ちしている」とあいさつしたあと、福祉バスの優先的利用についての要望事項等を決めて閉会しました。

し、健康の保持につとめること。、できる限り社会教育の場に参加し、新しい社会に順応できるよう教養を深める事に努力する。一、美しい市浦村建設、即ち清掃環境美化運動に協力し、参加する。一、公共施設の利用改善は大いに喜ばしいことであるが、この際、更に福祉バスの優先の利用についても適切な措置と配慮を望む。と四項目にわたって提案し、萬場の拍手で確認決定されました。また、次の開催地側を代表して、佐藤辰三郎さんが「来年の太田大会には、老人クラブ全会員の参加をお待ちしている」とあいさつしたあと、福祉バスの優先的利用についての要望事項等を決めて閉会しました。

消防観閲式 猛暑の中玉落とし競技も…



市浦村消防団の定期観閲式が八月十四日、団員百人、消防自動車三台、可搬式ポンプ七台が参加して行われました。午前八時から磯松川で各分団による玉落とし競技したあと、脇元小グラウンドで白川治三郎村長の観閲をうけ、閲兵人員服装点検、機器具の点検を受けたあと、消防訓練礼式、分別行進をしました。

次に、脇元公民館で表彰及び感謝状の授与、玉落とし競技の賞品授与があり、白川治三郎村長の講評、秋田谷納団

長（訓示のあと、市浦営林署目時寿夫管理官から祝辞がありました。このあと、受彰者を代表し、三上金清団員から謝辞があり散会しました。 ■優良団員受彰者 吉田重夫、三和琢磨、秋田谷清、三上金清、山田敏昭、田武治、有馬順一、丸山幸春

（写真）規律正しく分別行進する団員



清掃環境美化運動に協力し美しい市浦村をつくらう……と大会宣言しました。

第34回県民体育大会で好成績

一戸(砲丸投)桜庭(150)で優勝



第三十四回市町村対抗県民体育大会が八月十八日から二日間の日程で青森市を主会場に開催されました。

初日は午前十時から県総合運動公園陸上競技場で開会式が行われ、六十六市町村の代表二千余人、白川治三郎団長以下七十二名の市浦村代表も力強く入場進しました。



午後からは、今夏最高の暑さの下で熱戦を展開。千五百人に出場した桜庭誠選手(市浦中勤務)が4分3秒9の大会新記録で優勝。百位では、12秒6の記録で奈良良光選手(市浦営林署勤務)が三位に入賞しました。

また、砲丸投げでは一戸俊一選手(役場勤務)が自己最高の111.16(大会記録)にはおぼなかつたものの、111.4の記録で二年連続優勝をなしました。

その他の競技では、軟式庭球、バドミントン、剣道が優勝チームを相手に善戦し、弘前市市民体育館で開催された男子バレーボールも準決勝までコマをすすめたが、稲垣に惜しくも敗れました。

また、今大会の優勝チームと期待されていた軟式野球も強豪チームが新郷を六対〇、六ヶ所を二対一で破つたものの、決勝では前年の覇者田舎部チームに善戦したが、六対二で惜敗しました。

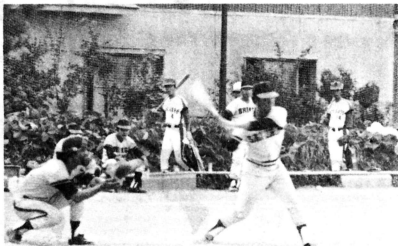
力強く入場行進する市浦村代表



100mで3位に入賞した奈良選手



優勝チームを相手に善戦したバドミントン



強豪チーム新郷を相手に6:0で破りました。



砲丸投げて三年連続優勝した一戸選手

十三小に待望のプール

水しぶきをあげ大はしやぎ



新しいプールではしゃぐ子どもたち

集まれ高校生……

ふるさと運動、がスタート

市浦中学校教頭から「市浦村の将来を担う一員として期待しているので、この運動を通して地域社会の立派な形成者になるよう頑張ってもらいたい」と励ましの言葉がありました。集まった高校生たちは、係の説明を期待と不安が入りまじったような顔で聞いていました。時がたつにつれてだんだんうちとけ、役員の出出や向う一か年の事業計画を審議し、楽しいふんいきの中で歌をうたったり、フョークダンスをするなど、楽しい

一日を過ごしていました。

■主な事業
一、スポーツのつどい
二、郷土史について
三、自然愛護活動
四、オリエンテーリング
五、郷土史と村の未来

■役員は次のとおりです。
会長 秋田谷晴浩、副会長 三和幸博、藤田篤、班長、三和直樹、吉田勇二、三浦光一、奈良千草、伊南杉子、小倉広起、副班長、成田衛、山田千里、山田徹、奈良美代子。



8

「フワイ、僕らのプールが出来たぞが、十三小学校（葛西正憲校長、児童数九十六人）に子どもたちが待ち望んでいた学校プールが完成し、七月二十五日修

工が完成し、七月二十五日修ばつ式とプール開きが行われました。

村では、村内四つの小学校にプールを建設することに、四年前から事業を進めてきました。が、初年度の相内小学校に続いて、太田、脇元と毎年一校の割合でプールを建設してきました。

完成したプールは、同校体育館の東側に建設され、総工費二千九百五十七万円。二十五日、八コースのプール本体と更衣室、男女トイレ、機械

写真上：プール完成に児童代表がお礼をへました

室等が完備されています。プール本体がステンレス製だけに、サビに強く、浄化装置があり、水の入替えはほとんど無用。さらにプールには、砂ぼこりなどを取り除く吸引装置なども取りつけられ、水の衛生管理に万全を期しています。

また、塩害防止のためにステンレスを使ったプールは、県内でも初めのもので、真っ黒に日焼けした子どもたちは新しいプールに水しぶきをあげています。

青少年の地域活動事業の一つである「ふるさと運動」の開講式が、八月十日、十六名の高校生を集めて基幹集落センターで開かれました。

「ふるさと運動」は、県から委託を受けて今年からスタートした事業ですが、主として在学青年（高校生）の集団活動を通して、地域社会の形成者意識（コミュニケーション意識）を啓発し、公民館活動における在学青年教育の拡充を図ることを目的としています。

この日は、斎藤敏勝教育長のあいさつに続き、高崎富雄



ふるさと運動とは……説明をうける高校生

磯松出稼労働組合で総会 出稼ぎ協会加入等を決める



磯松出稼労働組合の第十四回定時総会が八月十四日午前十時磯松公民館で開かれた。

⑤ 広報しうら

同組合の総会は、毎年二月に開催してきたが、年間通しての出かせぎ者が多くなつたことから、今回からお盆に開催することに決めていました。同地区の出かせぎ世帯数は五十四で、六十六人の出かせぎ者が登録されています。

この日の出席者は二十二名でしたが、伊南忠雄組合長が「雇用情勢が上向きの傾向にあるとはいへ、出かせぎ者にまつわる諸問題がたくさんあります。身体に十分気をつけて頑張らしましょう」とあいさつし

ました。続いて、五十三年度の経過報告と決算を承認、五十四年度の事業計画を審議決定しました。

事業計画では、安全で明るい出かせぎをするために健康診断の実施、県出稼協会への加入促進、組合員相互の親睦を深める。次回から留守家族をふくめた合同総会の開催等を決めました。

役場出稼担当者から市浦村の出稼ぎ実態調査の報告と県出稼協会事故見舞金制度の説明があつたあと、久しぶりで明つた仲間と酒をくみかわしていました。

“三歳のひみつ”

健やかな成長を願ひ

“なぜなぞ教室”

テレビでおなじみの「三歳のひみつ」お母さんの「なぜなぜ教室」が、このほど基幹集落センターで開かれ、三十七人の若いお母さんたちが集まり、熱心に勉強しました。

法をわかりやすく説明しました。

それによると、

〇歳から一歳

人間らしさのできる時期(立つて歩く、手を使う、話をし始めるの土台ができる)

一歳から二歳

人間形成の基礎ができる。(性格、知能など脳の発達)

二歳から三歳

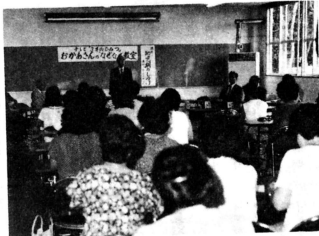
大人の仲間入りをする時期

また、最近女子労働が多くなつたが、保育所などに任せつきりではなく、母親自身の手でたくましく育ててほしいと結びました。

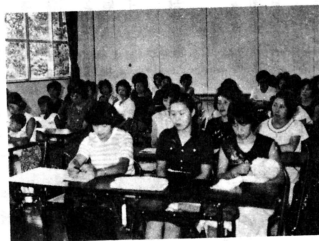
この日は、中里町からも若いお母さんたちが十一人参加していました。わが子の健やかな成長に真剣な面持ちでメモをとったり、質問して

ました。

熱心にメモをとるお母さんたち



幼児教育は人間形成の基礎……長内吉三郎
県教育庁社会教育課長があいさつしました



熱心にメモをとるお母さんたち

役場の電話は
2111番です

9月のおしらせ



社協協記念大会 第2回社会福祉講座も

市浦村社会福祉協議会発足記念大会を下記により開催します。
記念大会を終わったあと、第2回目の社会福祉講座を開催しますので、多数参加するように。

とき 9月8日午前10時

ところ 基幹集落センター

※講師 中野 潤木造町助役

(元県社会福祉協議会事務局長)

※昼食は、社協で準備します。

※当日のバス運行時間

○桂川(秋田谷久助宅前) 8時30分

○太田(青山商店前) 8時40分

○十三(公民館前) 8時50分

○脇元(公民館前) 8時55分

○磯松(公民館前) 8時50分



移動保健所

とき 54年9月17日10:00~14:00

ところ 桂川福祉会館

対象 一般住民

今回桂川地区で、健康相談をうけられる方は、この日をご利用下さい。

ごみの収集は

5月から10月まで
毎週月曜日と木曜日です。



3種混合予防接種

●とき 昭和54年
9月18日

- 対象 1期 51年7月1日生
~52年6月30日生
- 2期 前年1期予防接種をうけた人

●時間及び場所

場 所	時 間	備 考
太田センター	13:30~13:40	1期・2期
十三公民館	14:00~14:20	+
脇元公民館	14:40~15:10	+
市浦診療所	15:20~16:00	+

1期の2回目は、10月19日

3回目は、11月20日

(1回目と同じ場所同じ時間)

この予防接種は、(百日セキ・破傷風・ジフテリア)の3種類で、3回うけなければなりません。

◎子供の状態をよく医師に話す。
問診票の必要事項は必ず記入し、母子手帳といっしょに受付へ。



9月の納税は 国民健康保険税 です (3期分)



村民体育大会は 9月9日に開催

第6回村民体育大会は、9月9日(日曜日)市浦中学校グラウンドで開催されます。

村民総スポーツと健康、スポーツをとおして村民の親善と融和を図ることを目的に開催します。
みなさんの積極的な参加をお待ちしています。



磯松婦人学級 開級式

とき 9月10日午後7時

ところ 磯松公民館

対 象 磯松地区在住の婦人



市浦村の歴史を 聞く会

高校生の「ふるさと運動事業」の一環として開催するものですが、今回は、中学生も対象とします。この機会に市浦村の歴史を勉強しましょう。

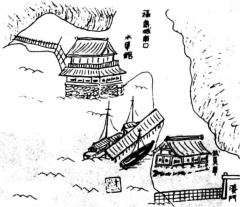
とき 9月15日午前10時

ところ 市浦村基幹集落センター

講 師 豊島勝蔵先生

健康相談日	時間	対象	妊婦指導日	時間	場所
9月5日(水)	10:00~12:00	(一般・乳児)	毎週	月曜日相内~太田・桂川地区(役場)	
9月10日(月)	10:00~12:00 (乳児) 13:00~14:00 (一般)				十三地区(十三出張所)
9月10日(月)	10:00~12:00	(一般・乳児)			
9月11日(火)	10:00~12:00 (乳児) 13:00~14:00 (一般)		毎週	火曜日脇元・磯松地区 (脇元出張所)	
9月11日(火)	10:00~12:00 (乳児) 13:00~14:00 (一般)				時間は各会場とも9:00~11:00

津軽の先住民族



安東氏が全盛をきわめたころの福島城(南口・船橋・船橋の園)
(村史資料編中華より)



▶19◀

安東水軍 ④

豊島勝蔵

三津七湊に指定

貞応二年三月(一二三三年、北条義時時代)、十湊は日本三津七湊に指定され

ました。日本全国の十指の港に列したわけです。三津というのは伊勢師ヶ津、博多字ノ津、泉州堺ノ津です。七湊というのは越前三国湊、能登輪島湊、越後今町湊、奥州十三湊、加賀本吉湊、越中岩瀬湊、出羽阿北湊のことです。この当時の船のれと、長いので省略させていただきます。小泊村の西山家に伝えられ所蔵されていた貞応の船法の写本は、現在同家から小泊中学校に寄贈されて保存されています。

湊浦奉行所を設置

天文二年十月(一五三三年、足利義晴時代)、小野寺基内によって書かれた「十三湊船式目」により、十三湊には湊検非違使(津司、検番が勤務する湊番所、

湊浦奉行所のこと)が置かれました。もちろん、安東氏の港の管理の役所ですけれども、寄港の区域の指示、荷上げ荷下げの監視、夜航の禁止、密航者の取りまら、入港時の帆のあげ方、湊の燈明の管理、寄港者の所持の有無、抜け荷の監督、霞に備えたい警備道具(たとえば、ほら貝の類)の所持、難破に対する救桐浮物の設備等寄航船の全般に関する管理を役目としていました。また、船中における盗難、殺生等の事件は、一切船頭の責任において処理されましたが、十三湊に寄港すると同時に検非違使に報告しなければならぬことになっていました。時によっては、未解決事件である、全員下船を禁止され、審判がくだった下船が許されること

もありました。次に、十三湊検非違使(津司)の治司(津司)右衛門の尉が定めた船法について、その大要を申し上げます。

(一) 税の徴収
(二) 税の徴収
(三) 湊は、入港船に對して税の徴収を行ない、莫大

な富を得たといわれています。通商船に課せられた税は、その日の日歩五百貫文、三百年貫文の三段階に区分されています。また、遠海漁、近海漁にかかわらず検番の検見を受け、漁獲高の六分の三の品を納めさせました。ずいぶん高率のように思われます。

(二) 風紀の取締り

男女の風紀については、とても厳重な規則が設けられています。おもに客船で泊する時は、男女別々の部屋をとらなければなりません。また、船中の夫婦の添え寝は禁止され、まして船中で婦女子をおかした者は容赦なく死罪に処せられる規定になっています。

(三) その他

船中の飲酒、商行為の禁止、騒動を起した者の死罪も定められ船頭たりとも決して許されません。また、航行の安全については特に意を用い、安東船には万全を期した施設設備が整えられていました。

昭五四・八・三〇記

村の史跡(七)

長谷寺跡

桂川と太田川の合流する地点、俗称中崎(四軒家向い)に長谷寺があった。

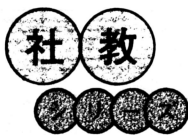
ここから地藏や人骨が出土したほか、大きな庭石等の散在が確認されている。

この寺は禅林寺と共に平氏の滅亡を供養して安倍次郎と安東高恒が建立したのが初まりだといわれるが、建仁二年(一一三三)十三左衛門尉秀光が寺閣として建立したものである。

寺は天台宗に属し、山王の礼拝所であったが、主尊仏は大日如来に似て阿闍如来、阿弥陀如来、薬師如来、釈迦如来を安置したか東西西南北に四天王を配し、不動明王を本殿に鎮座したといわれる。

住僧は山王から巡行させ居住者は東日流六郡より参詣する行者の宿となつて、法灯は禅林寺と共に日夜絶えることなく盛んであったといわれる。

長谷寺の水に
清むる吾が罪ぞ
流れは西の
海に消えなん



新しい

コミュニティを目指して

家庭、職場、学校等で、それぞれの立場に応じて実践して欲しい。

(1)「身のまわりから花と緑を増やそう」

ちよつとした場所にも花や木を植え、美しい環境をつくろう。

(2)「花と緑はみんなで大切にしよう」

植えた花や木は、よく手入れをしよう。又、車中からゴミを投げないようにしよう。

電話料金を電算化

することとなったものです。

五所川原電報電話局では、昭和五十四年九月分から電報電話料金の集計、計算事務を電算化するようになりました。

これまで五所川原局で発行してきた公社請求書は、集計から発行まで、すべて職員の手作業で行ってきましたが、電話加入者の増加によって従来の方法では集計発行業務が限界となり、かねてから電算化計画を進めてきたもので、

いよいよこの九月から本実施

(3)「木を植え、緑の豊かな山を育てよう」

緑の山は、潤いと憩いを与えてくれるばかりでなく重要な働きをもっています。植林もし、大事に育て、特に山火事を出さないように努めよう。

(4)「自然に親しみ、自然を大切にしよう」

まず自然について理解を深めよう。それには、自然観察会や探鳥会などに積極的に参加するとともに、美

しい自然を守るため、自分のゴミを自分で持ち帰ることを率先して行おう。

昨年六月に発足した「あすを拓くあすなろ県民運動」は、組織づくりを終え、九月四日(火)木造町で行われる市町村推進員の研究会を皮切りに、実際の活動が活発化するものと思われ

ます。市浦村では、運動項目と照合し、関係機関から二〇名の推進員を委嘱しており、氏名は次号でお知らせします。

長橋・梅沢・中里・小泊・市浦局のお客さま

料金月別区分	8月分	9月分	10月分以降
計算期間	6月21日～7月20日	7月21日～8月24日	8月25日～9月25日
請求書到着日	8月10日	9月15日頃	10月15日頃
支払期限	8月20日	9月25日	10月25日

- ・太わくの9月分からコンピューター発行となります。
 - ・期間調査のため9月分の計算期間は35日間となります。(注) 1. 計算期間の締切日が土曜、日曜、祝日にあたる場合は、それらの前日が締切日となります。
 - 2. 基本料金等の計算期間は、従来どおり(1日～月末)で変わりありません。
- (五所川原電報電話局) TEL. (01733) 5-1101番

こにちわあちやん

石岡認さん長女 (脇元)

鏡子ちゃん (11カ月)

3人兄妹の末っ子私、オモチャたくさん持ってるんだ！クマちゃんにイジワルしてるの。立つのがやっとの鏡子ちゃん……。



戸籍の窓

お誕生

- 成田 友美(相内) 俊二郎
- 小林 裕二(相内) 初男
- 三上奈津子(相内) 長五郎
- 相坂 友人(十三) 義雄
- 成田 武典(脇元) 武
- 柏谷 美沙(相内) 稔
- 古川琢也(十三) 七五三夫
- 三和 朋聖(相内) 均
- 外崎 史子(脇元) 精一
- 権引 亮平(脇元) 雄二
- 山本 和秀(相内) 昭和
- 秋田谷金仁(桂川) 金藏

おくやみ

- 岩間ハナ(相内) 74歳
- 佐藤豊一(相内) 58歳



おくやみ

- 白川 武治(十三) 達彦みどり(横)
- 丸山 正一(太田)
- 新岡 ゆき(中里)
- 山田 裕幸(脇元)
- 山田 裕子(中里)
- 新野喜代子(兵庫)
- 太田 浩(青森)
- 宮崎 純子(十三)
- 山本 永幸(中里)
- 土岐みどり(相内)
- 宮本 良三(相内)
- 新岡 篤子(中里)
- 神木 建輔(横浜)
- 鳴海らさ子(相内)
- 伊南 秀正(磯松)
- 佐藤 陽子(木造)